

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 14 日 (2014.8.14)

【公開番号】特開 2012-37875 (P2012-37875A)

【公開日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-008

【出願番号】特願 2011-148186 (P2011-148186)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

F 1 6 C 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 1

F 1 6 C 13/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 30 日 (2014.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電性の支持体と、表面層である弾性層とを有する帯電部材であって、
該弾性層は、電子線の照射によって硬化された領域を表面に有しており、
該硬化された領域は、球状粒子を該弾性層の表面に露出した状態で支持し、それにより
該表面が粗面化されており、

該球状粒子は、球状シリカ粒子、球状アルミナ粒子および球状ジルコニア粒子からなる
群から選ばれる少なくとも一つの球状粒子であることを特徴とする帯電部材。

【請求項 2】

前記球状粒子の長さ平均粒子径が 2 μ m 以上、80 μ m 以下である請求項 1 に記載の帯電部材。

【請求項 3】

前記弾性層が単層であって、かつ、唯一の弾性層であり、該弾性層の厚みが 0.8 mm 以上、4.0 mm 以下である請求項 1 または 2 に記載の帯電部材。

【請求項 4】

前記弾性層における硬化された領域の厚みが、前記球状粒子の長さ平均粒子径の 0.5 倍以上である請求項 2 または 3 に記載の帯電部材。

【請求項 5】

前記弾性層における硬化された領域の厚みが、前記球状粒子の長さ平均粒子径以上、200 μ m 以下である請求項 4 に記載の帯電部材。

【請求項 6】

前記弾性層が、前記弾性層における硬化された領域を、前記弾性層の表面部分のみに有する請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の帯電部材。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の帯電部材の製造方法であって、
(1) 前記支持体上に、前記球状粒子を含むゴム層を形成する工程と、
(2) 該ゴム層の表面を研磨して該球状粒子の一部を露出させる工程と、
(3) 該工程 (2) によって得た、該球状粒子の一部が露出した該ゴム層の表面に電子

線を照射することによって、表面を硬化させて前記弾性層を形成する工程と、
を含むことを特徴とする帯電部材の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載の帯電部材と、
該帯電部材に接触配置され、該帯電部材によって帯電可能な被帯電体と、を有すること
を特徴とする電子写真装置。